

日本原子力学会 2009年春の年会（東京工業大学 大岡山キャンパス）

「標準委員会セッション」（一般公開）

（3月24日（火）13:00～14:30, K会場）

#### 【プログラム】

- |                     |                |       |     |
|---------------------|----------------|-------|-----|
| 1. 標準委員会の改革について     | （標準委員長）        | 宮野 廣  | 30分 |
| 2. リスク専門部会の活動方針     | （リスク専門部会長）     | 平野 光將 | 20分 |
| 3. システム安全専門部会の活動方針  | （システム安全専門部会長）  | 関村 直人 | 20分 |
| 4. 基盤・応用技術専門部会の活動方針 | （基盤・応用技術専門部会長） | 岡本 孝司 | 20分 |

#### 【概要】

平成18（2006年）年7月に、原子力安全・保安院に原子力安全基盤小委が設置され、原子力安全規制を科学的かつ合理的なものとするため、規制ニーズに応じた安全研究テーマの提示とその成果の規制体系への反映に関する議論が行われ、その中で学協会規格の活用についても議論されてきている。これらの成果については、昨年10月に原子力安全基盤小委員会報告「～原子力の安全基盤の強化について～」としてとりまとめられている。

日本原子力学会の標準委員会についても、このような動きに呼応する形で標準策定活動の強化、改革を進めており、本年には事務局の強化と委員会組織の見直しを行った。

本セッションでは、標準委員会における改革の概要とその目的について説明を行い、新たに設置された3専門部会（リスク専門部会、システム安全専門部会、基盤・応用技術専門部会）より、それぞれの活動の方針、当面の活動内容などについて紹介を行う。

#### 1. 標準委員会の改革について

標準委員会の改革の目的とその概要について、基盤小委の報告書の引用等を交えて紹介する。

#### 2. リスク専門部会の活動方針

リスク情報活用の為の考え方と、PSA（Probabilistic Safety Assessment）等の具体的方法に関する標準の策定計画などについて紹介する。

#### 3. システム安全専門部会の活動方針

原子力施設の安全設計や運転・運用における安全確保に係わる考え方、特に炉心・燃料および発電所全体の設備の安全に係わる標準の策定計画などについて紹介を行う。

#### 4. 基盤・応用技術専門部会の活動方針

原子力の共通基盤事項、例として放射線・放射能、熱流動などに係わる測定、解析、評価といった技術ならびにそれらの応用に関する標準の策定計画などについて紹介を行う。

以上